

データネット2026

全体概況/志望動向

1 多数のご参加、誠にありがとうございました

集計数 399,904 人

※集計数＝大学入学共通テスト自己採点集計サービスにご参加いただいた実人数

(集計率 80.6 %)

※集計率＝大学入学共通テスト自己採点集計サービス集計数÷共通テスト出願者数

集計データの多さ

共通出願者の約80.6%が参加、入試結果調査ご協力件数47万135件と、全国最大規模の自己採点データ、入試結果データをもとに、判定付け、動向分析を行っております。

判定精度の高さ

判定付けにおいては、自己採点段階だけでなく、出願に至るまでの受験生の動きも踏まえております。入試結果も、単年度ではなく、複数年度の結果を吟味し、合否ラインを検証しております。

エリア特性の反映

全国9拠点（北海道、東北、関東、首都圏、中部・東海、北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）の、エリアならではの併願傾向を判定値に反映しております。

2 全体概況/志望動向サマリー <ダイジェスト>



文系・理系ともに平均点がダウン

6教科1000点集計での予想平均点は、文系596、理系603と、昨年度と比較していずれもダウンの予想となった。教科別にみると、化学や物理基礎で平均点がアップし、国語や数学Ⅰ・A、英語リスニング、物理、情報Ⅰなどで平均点のダウンが目立った。



難関国立10大学、医学部などで志望者数が減少

共通テストの平均点ダウンの影響もあってか、国公立大では全体の志望者指数98に対して、難関国立10大の志望者指数は97、医学系統の志望者指数は91と下回った。特に理系の学部系統で難関大の志望者数の減少が顕著である。

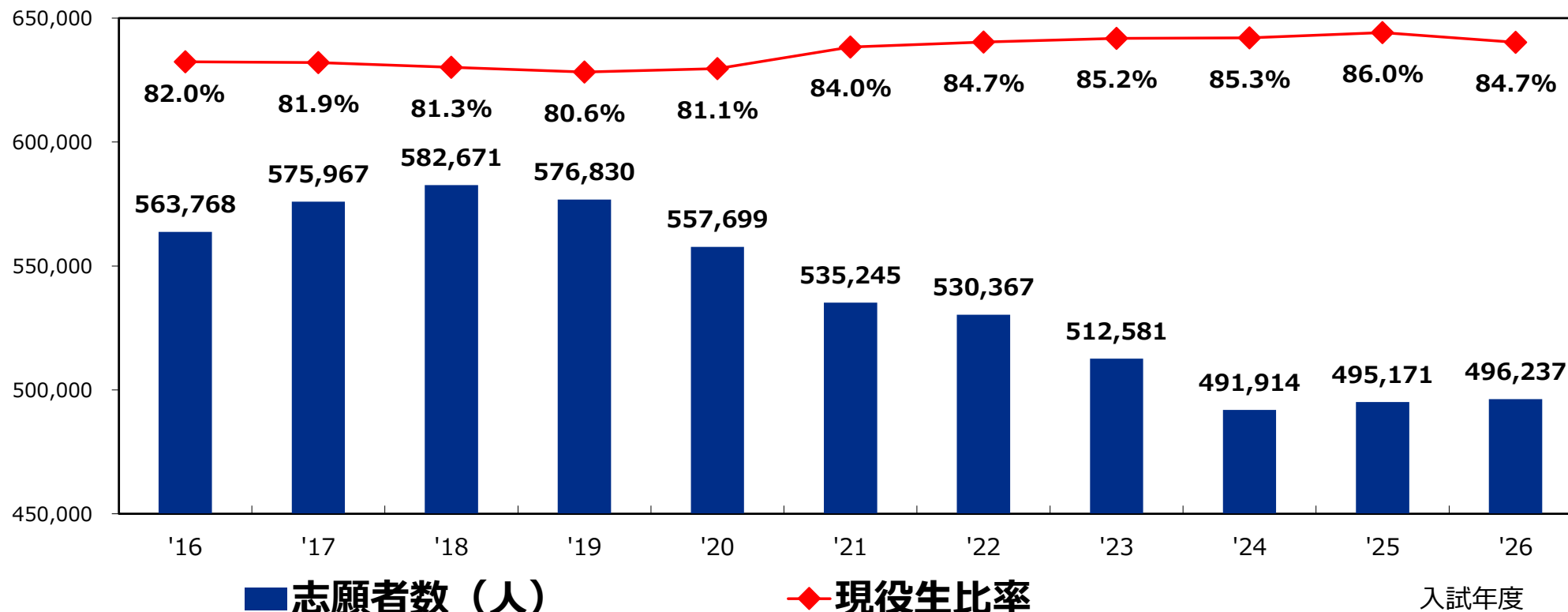


文系では法学・経済学、理系では農学系統で志望者数がやや増加

国公立大、私立大ともに法学、経済・経営・商学、農・水産学系統などで志望者数がやや増加した。一方で、国公立大は人文科学、生活科学、医学、薬学系統で志望者数が減少し、私立大では社会学、生活科学、保健衛生学系統で志望者数が減少した。

共通テスト 最終志願状況

共通テスト 最終志願状況

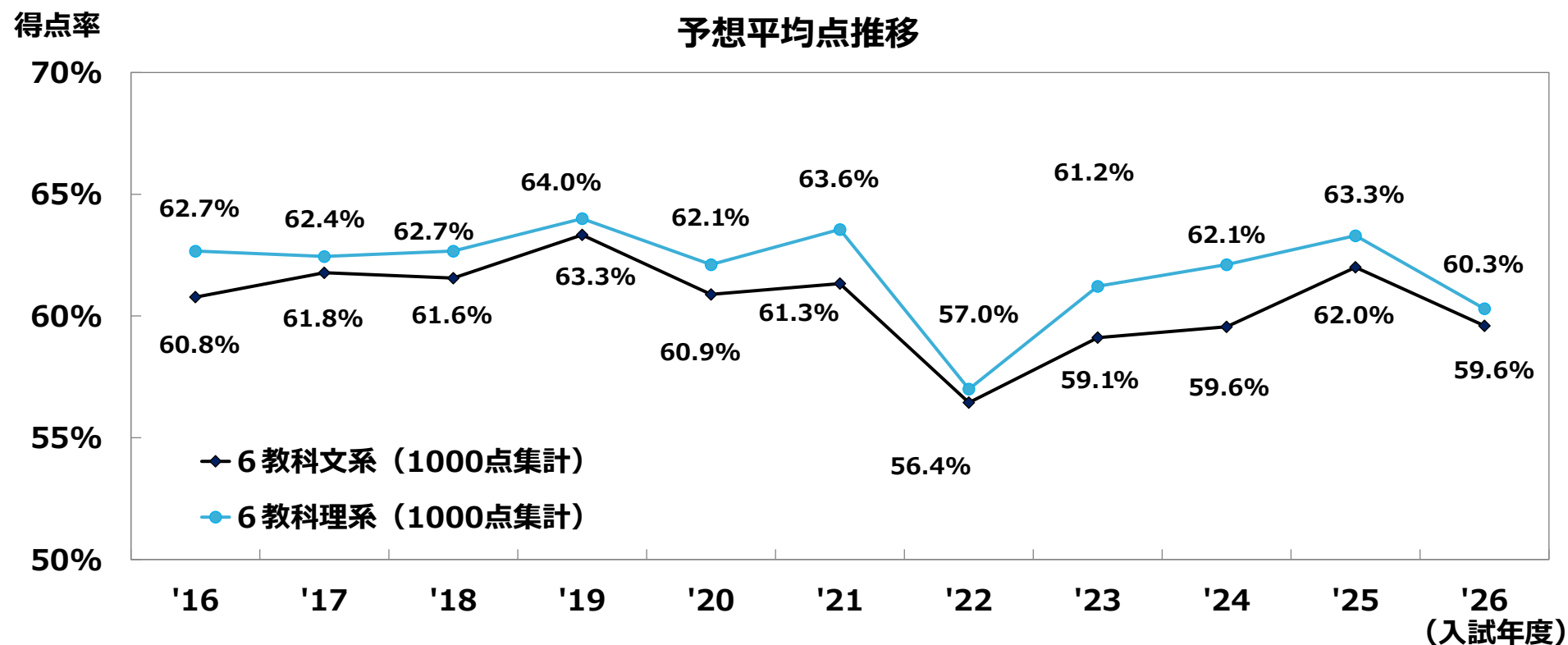


* 2020年度まではセンター試験の値。2021年度は第一日程と第二日程の合算値

志願者数496,237人（対前年+1,066人）
現役生比率 84.7%

共通テスト 1000点満点 予想平均点

6 教科文系 596点 (対前年 -24点)
6 教科理系 603点 (対前年 -30点)



* 大学入学共通テスト自己採点集計サービス最終集計値を基に、河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した1000点満点での平均点

* 20年度まではセンター試験の値。24年度までは900点満点における得点率

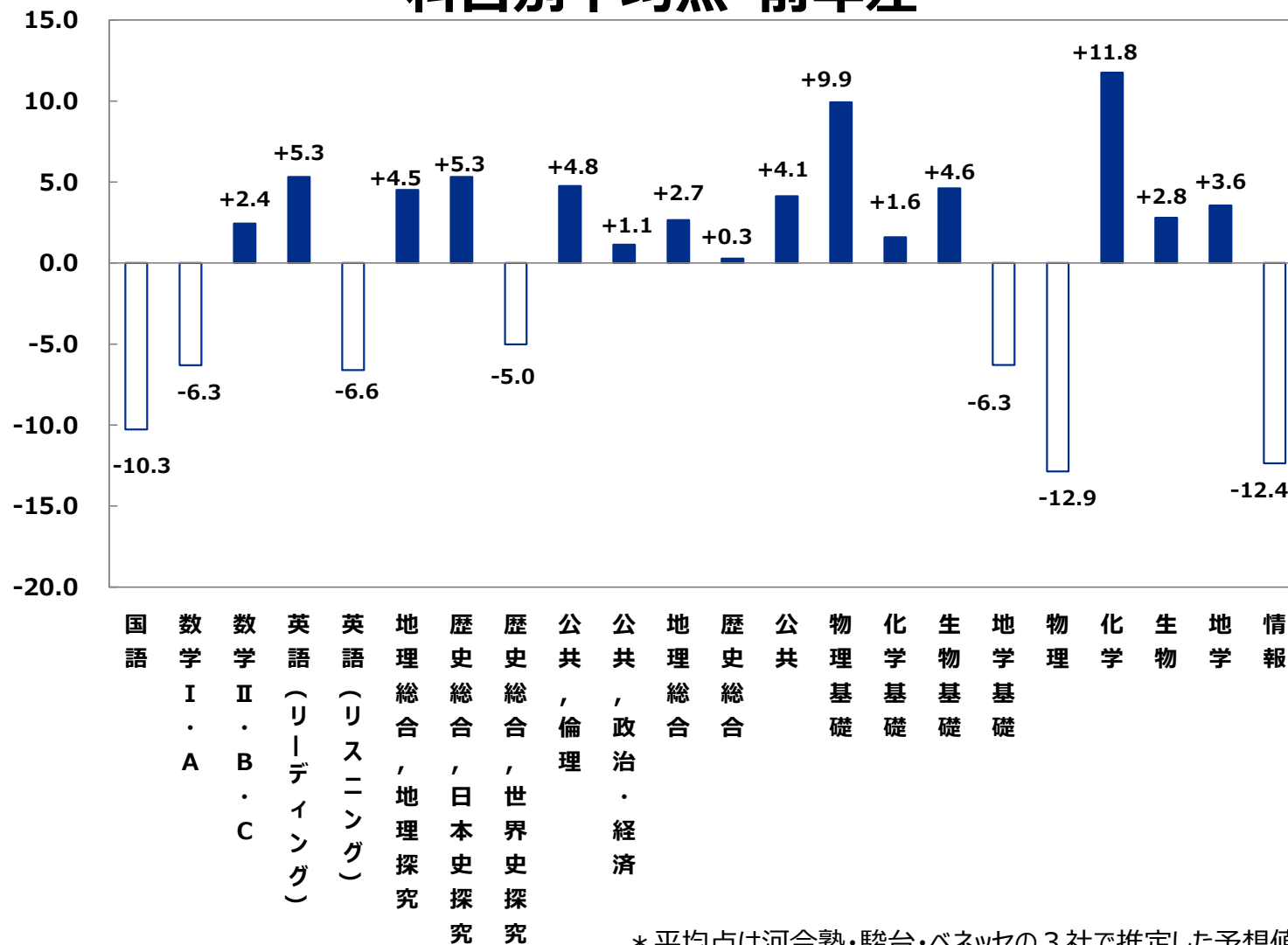
* 文系の理科、理系の地歴・公民について、高得点科目を集計した場合の予想平均点で算出

* 得点調整があった年度は得点調整後の値を算出

5 共通テスト 科目別予想平均点と前年差

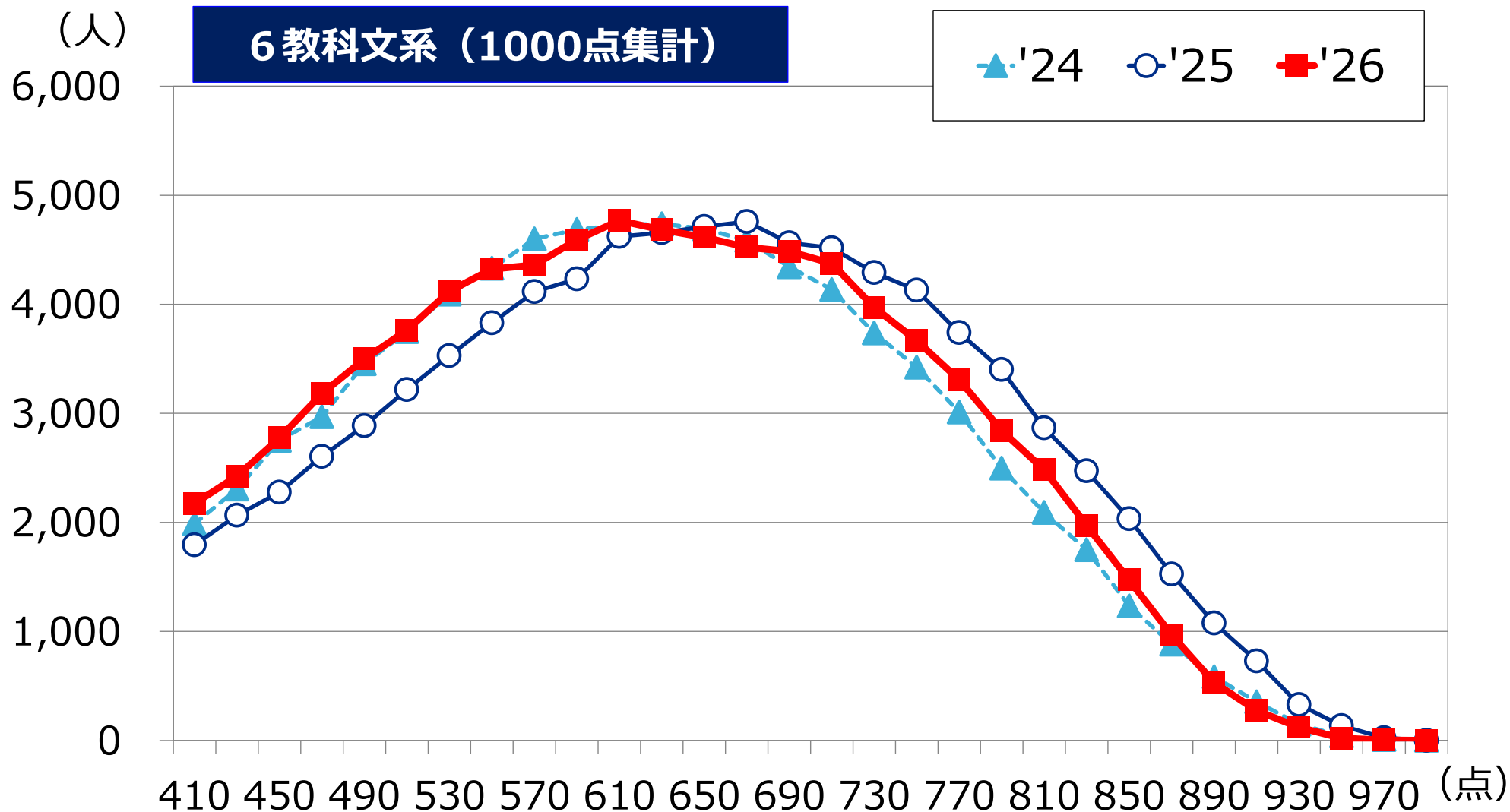
		平均点	前年差
国 語		116	-10.3
数 学	数学Ⅰ・数学A	47	-6.3
	数学Ⅱ・数学B・数学C	54	+2.4
英 語	リーディング	63	+5.3
	リスニング	55	-6.6
地 歴 公 民	地理総合, 地理探究	62	+4.5
	歴史総合, 日本史探究	62	+5.3
	歴史総合, 世界史探究	61	-5.0
	公共, 倫理	65	+4.8
	公共, 政治・経済	64	+1.1
	地理総合	24	+2.7
	歴史総合	25	+0.3
	公共	29	+4.1
理 科	物理基礎	35	+9.9
	化学基礎	29	+1.6
	生物基礎	36	+4.6
	地学基礎	28	-6.3
	物理	46	-12.9
	化学	57	+11.8
	生物	55	+2.8
	地学	45	+3.6
情 報		57	-12.4

科目別平均点・前年差



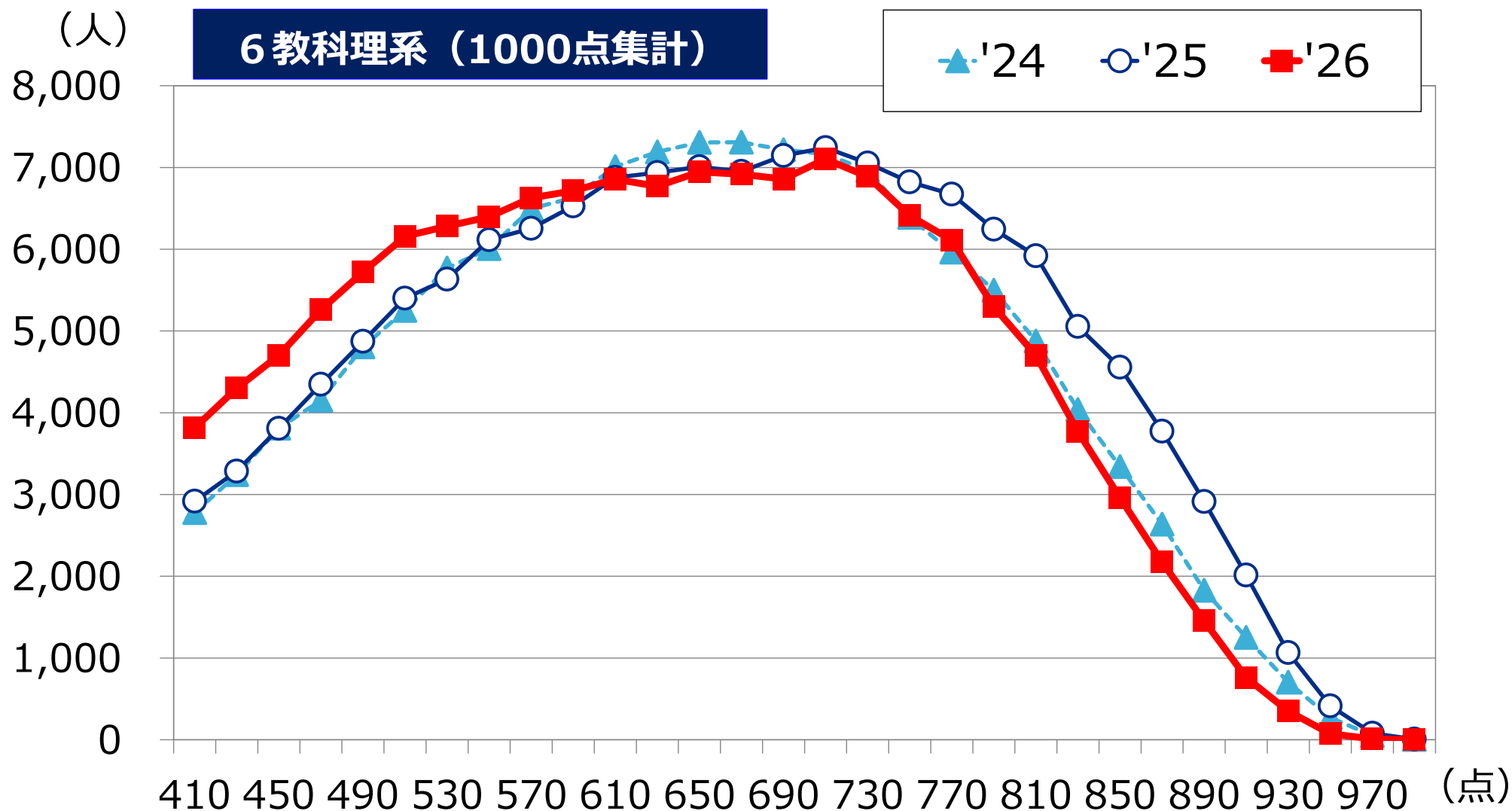
* 平均点は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値
 * 前年差は2026年度予想値と2025年度最終発表値との差

6 6 教科文系 度数分布 過年度対比グラフ



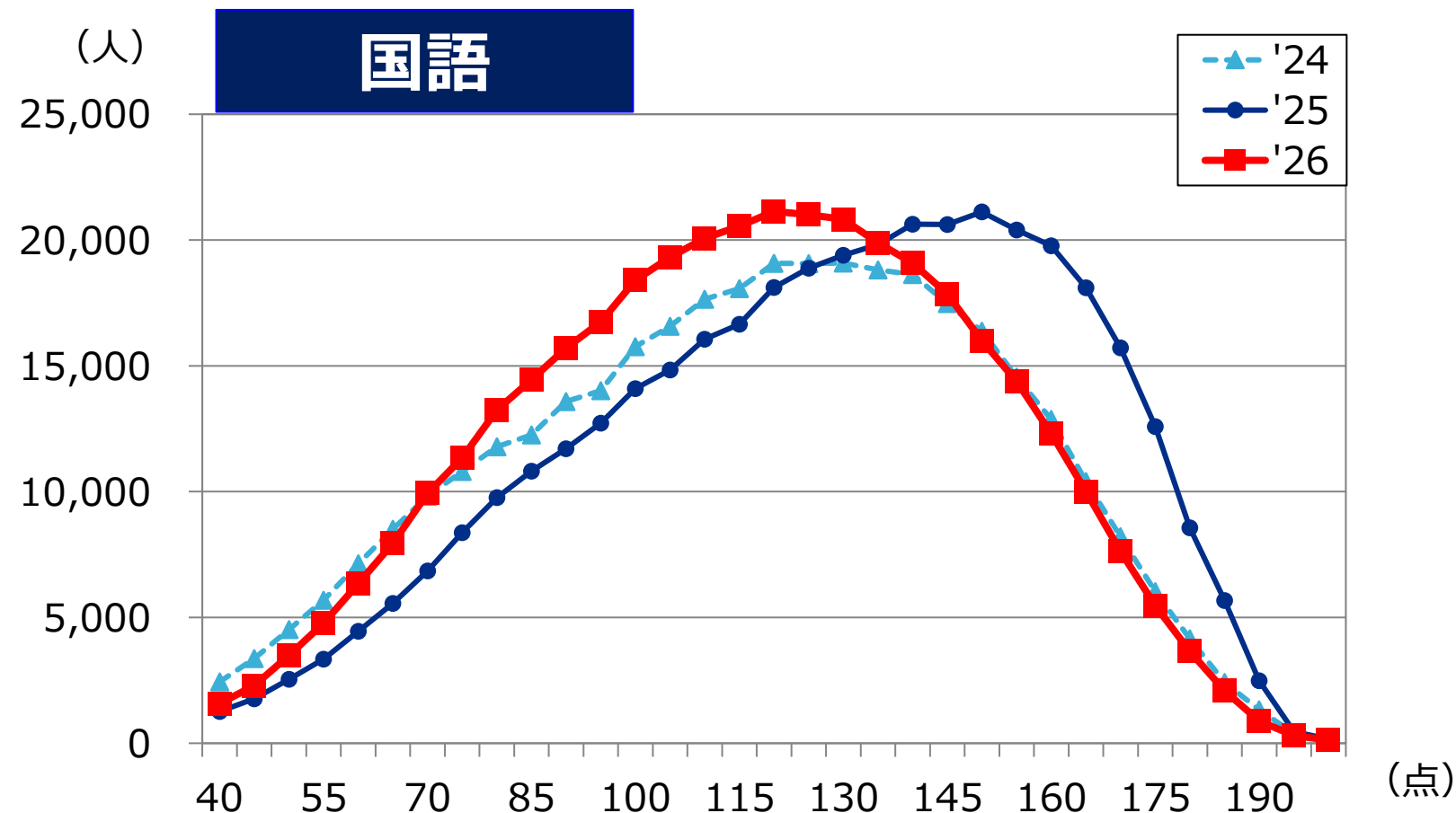
* 2024年度の値は、900点満点の得点を1000点満点に換算した上で算出

7 6教科理系 度数分布 過年度対比グラフ



* 2024年度の値は、900点満点の得点を1000点満点に換算した上で算出

データネット科目別概要 (国語)



出題傾向について

第1問以外の大問で、言語活動や複数テキストの設問が出題された。昨年より難化。

設問数は昨年より増加したが、解答数は1個減。昨年に続いて単一テキストからの出題であった第1問を除き、第2～5問では複数テキストや言語活動の設問で情報を比較したり関連付けたりする思考力が問われた。第3問ではグラフや表の読み取りはなかった。易しかった昨年に比べて第1問・第2問が難しく、昨年より難化。

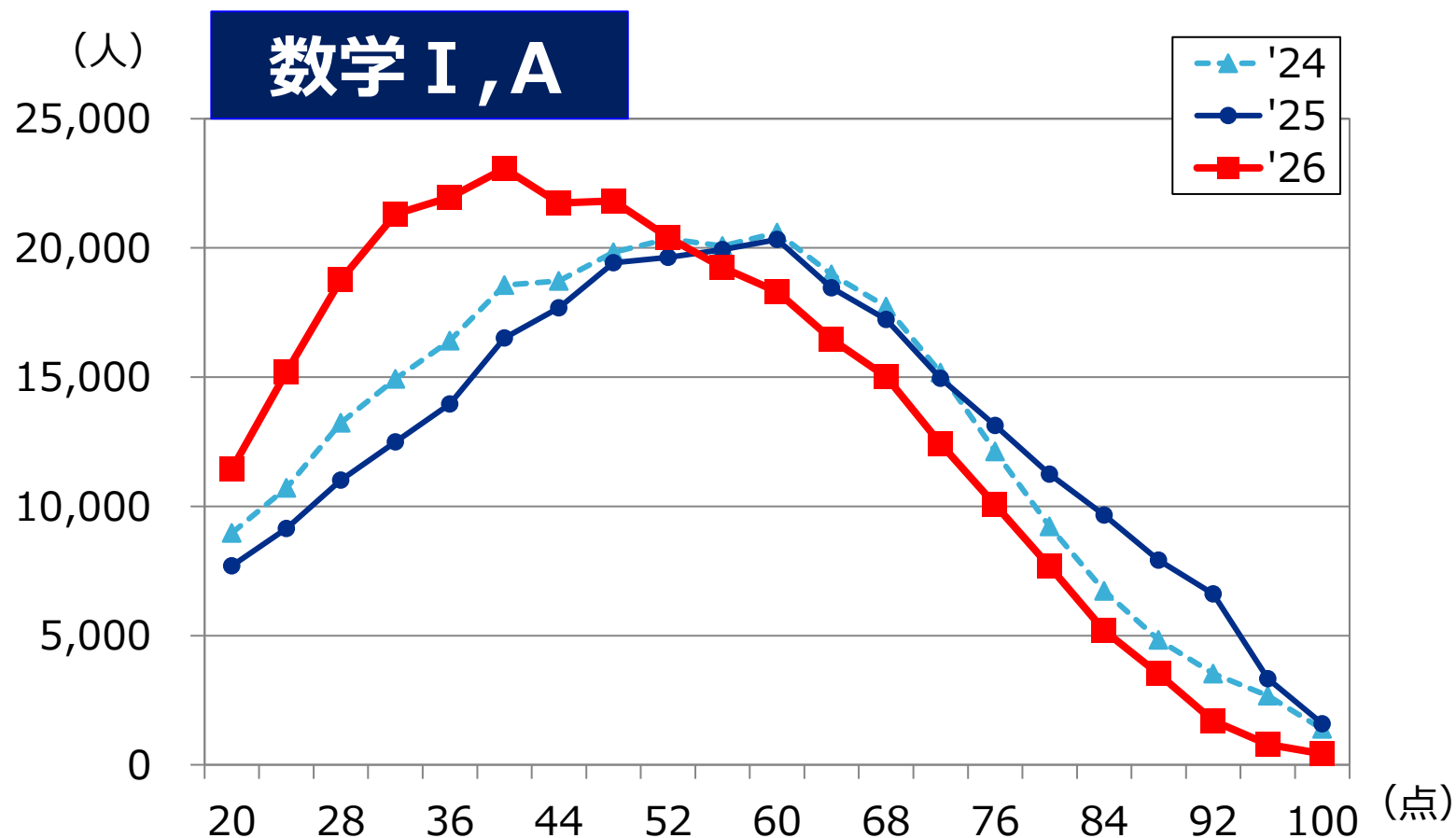
得点度数分布について

予想平均点が低下し、分布のピークが左に大きく動いた。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	116	126.67	116.50	105.74	110.26

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（数学Ⅰ,A）



年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	47	53.51	51.38	55.65	37.96

出題傾向について

日常の事象に関する問題、期待値の問題が出題されなかった。昨年より難化

第2問〔1〕「2次関数」は、対話形式ではあるが、昨年のような日常の事象に関する問題ではなく、最大値・最小値の条件から2次関数を決定する問題であった。昨年出題された仮説検定の考え方や、期待値に関する問題は出題されなかった。誘導の意図をつかめないと解答に時間がかかる問題が多く、昨年より難化。

得点度数分布について

予想平均点が低下し、分布のピークは前年より低い40点となった。前年よりも60点以上の層は少なくなった。

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

数学Ⅱ,B,C

(人)

20,000

15,000

10,000

5,000

0

20 28 36 44 52 60 68 76 84 92 100

* 2024年度は数学ⅡBの値

'24※
'25
'26

出題傾向について

図やグラフを選択させる設問が複数の問題で出題された。難易は昨年並

第1問「図形と方程式」、第6問「ベクトル」で、領域の図示に関する問題が出題された。第7問は、「複素数平面」主体の出題であるが、2次曲線の概形を選ばせる設問があった。各大問の導入部分は取り組みやすいが、後半部分は前半の考えを発展させる問題が多かった。難易は昨年並。

得点度数分布について

(点)

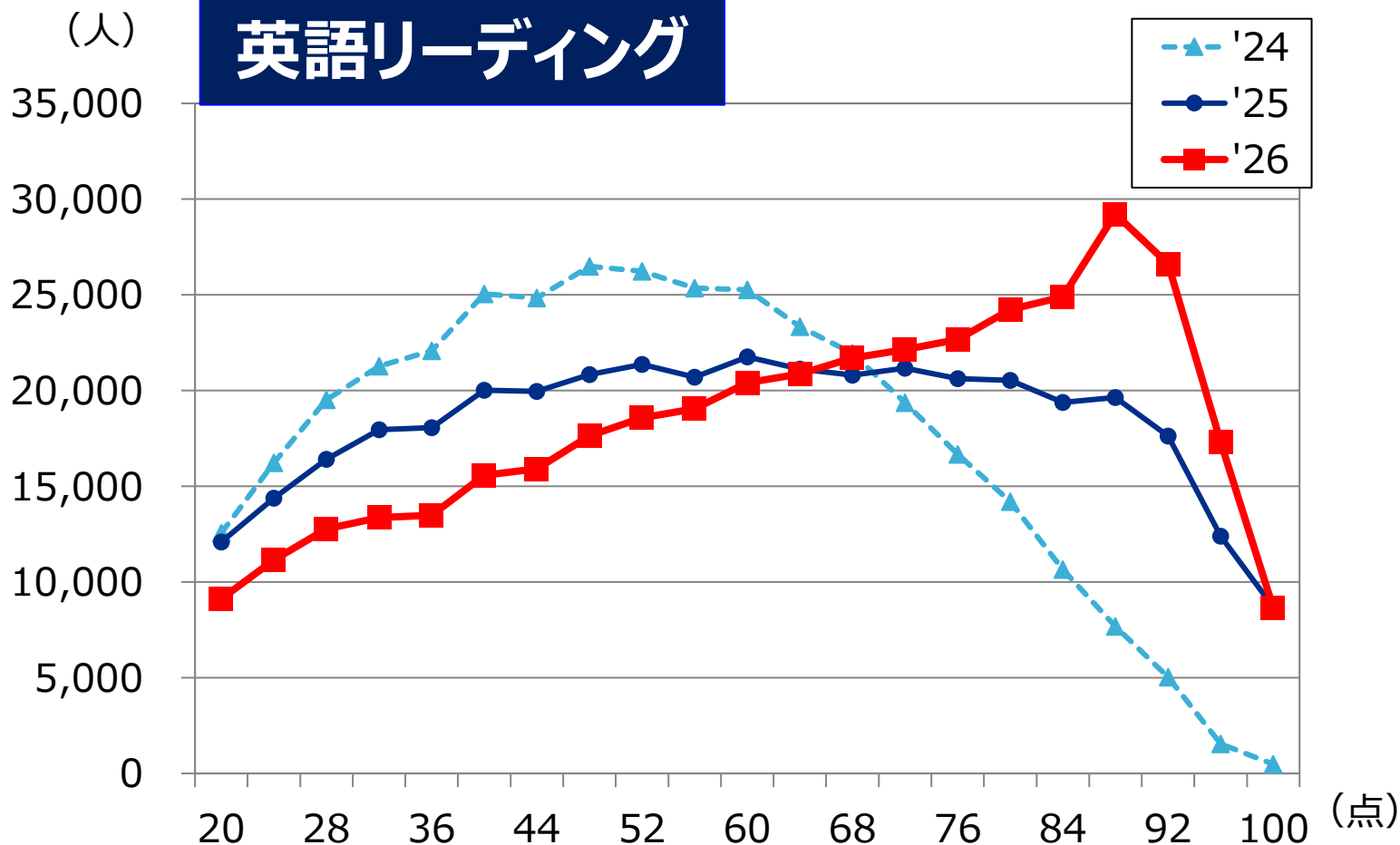
予想平均点が上昇し、30点以下の人数が減少した。ただし、92点以上の高得点層は前年よりも少なくなった。

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	54	51.56	57.74	61.48	43.06

データネット科目別概要（英語リーディング）

英語リーディング



出題傾向について

大問数・解答数・出題形式に大きな変化は見られなかった。昨年よりやや易化

題材は昨年同様、日常的な文章から説明文まで様々なものが扱われた。設問では、出来事の順序を問う問題や、複数の資料を読んで内容を整理する問題、文章の論理構成に配慮して訂正する問題などが出題され、昨年同様に多面的に情報を処理することが求められた。素直で取り組みやすい問題が多く、昨年よりやや易化。

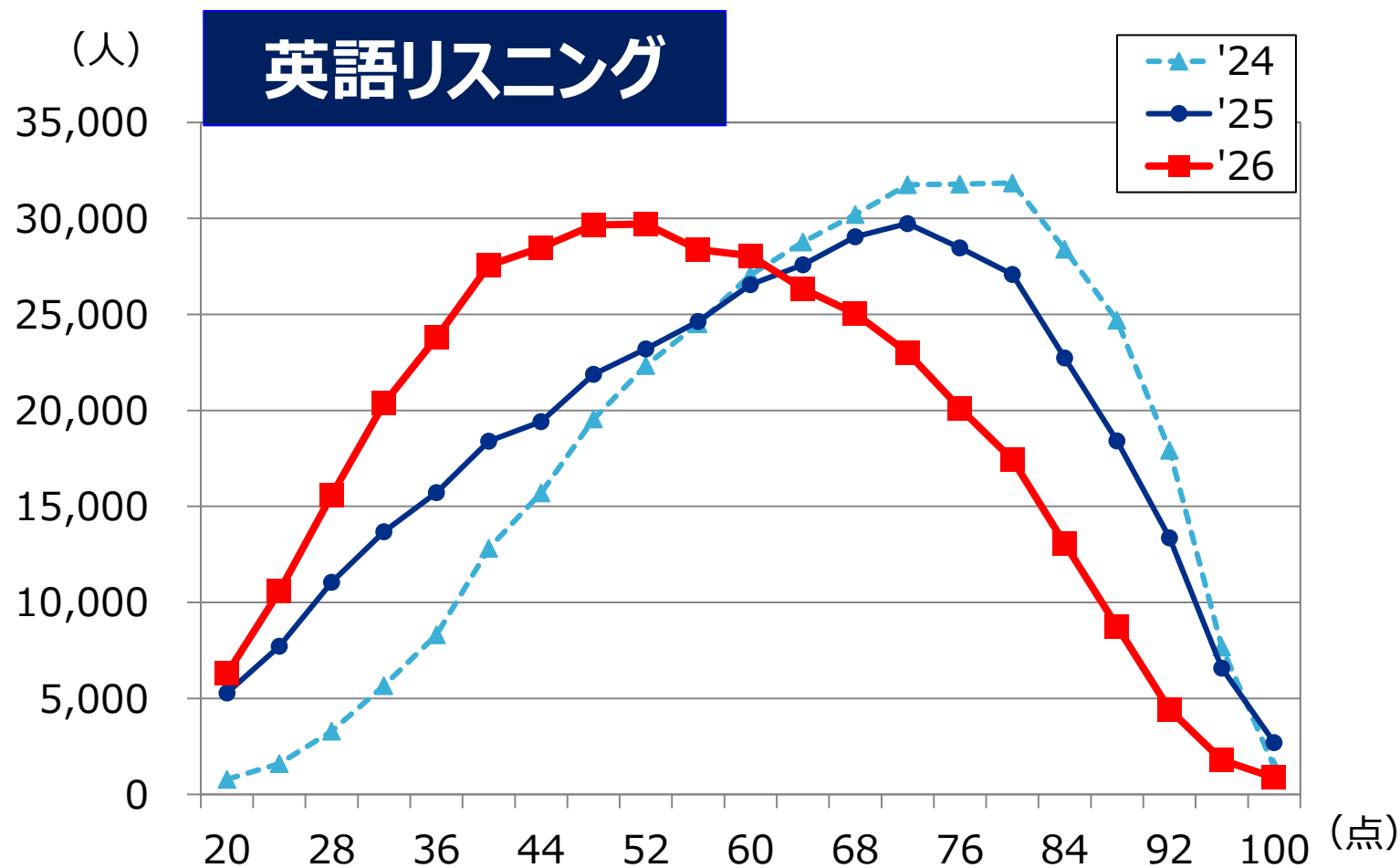
得点度数分布について

分布のピークが88点となる特徴的な形となった。昨年に続き、満点の受験生が多くみられることも特徴的。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	63	57.69	51.54	53.81	61.80

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（英語リスニング）



出題傾向について

**大問数・解答数・出題形式に大きな変化なし。
昨年よりやや難化**

昨年に続き、音声情報とイラストや図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が出題された。場面に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われ、一部の問題では情報を統合的に処理する力が求められた。講義全体を理解する必要がある問題や、放送文からの言い換えに注意が必要な難しい問題もみられたため、昨年よりやや難化。

得点度数分布について

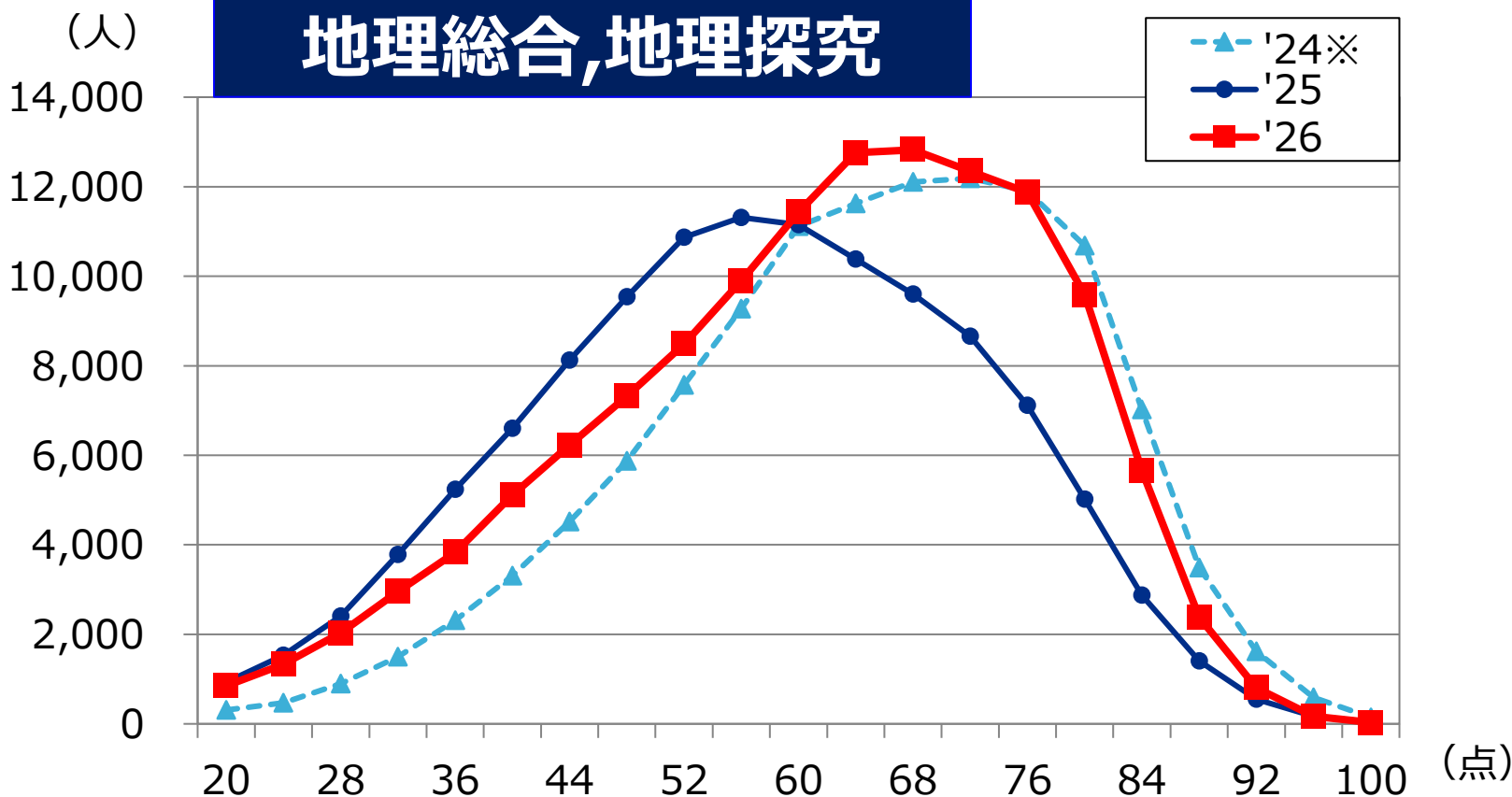
予想平均点が低下し、分布のピークが左に動いた。40～56点の受験生が最も多く、前年よりも64点以上の層は少なくなった。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	55	61.31	67.24	62.35	59.45

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（地理総合,地理探究）

地理総合,地理探究



* 地理総合、地理探究の2024年度は参考として地理Bの値を示した

出題傾向について

資料を丁寧に読んで地理的に考察する力や、深い理解が求められた。昨年よりやや易化
第1問と第2問が「地理総合／歴史総合／公共」の『地理総合』との共通問題。地図や統計表など、初見資料を含む資料を限られた時間で丁寧に読み解く図表読解力と地理的思考力が問われた。幅広い知識と深い理解を求める問題もみられ、大問ごとに難易の差がみられたが、全体としては、昨年よりやや易化。

得点度数分布について

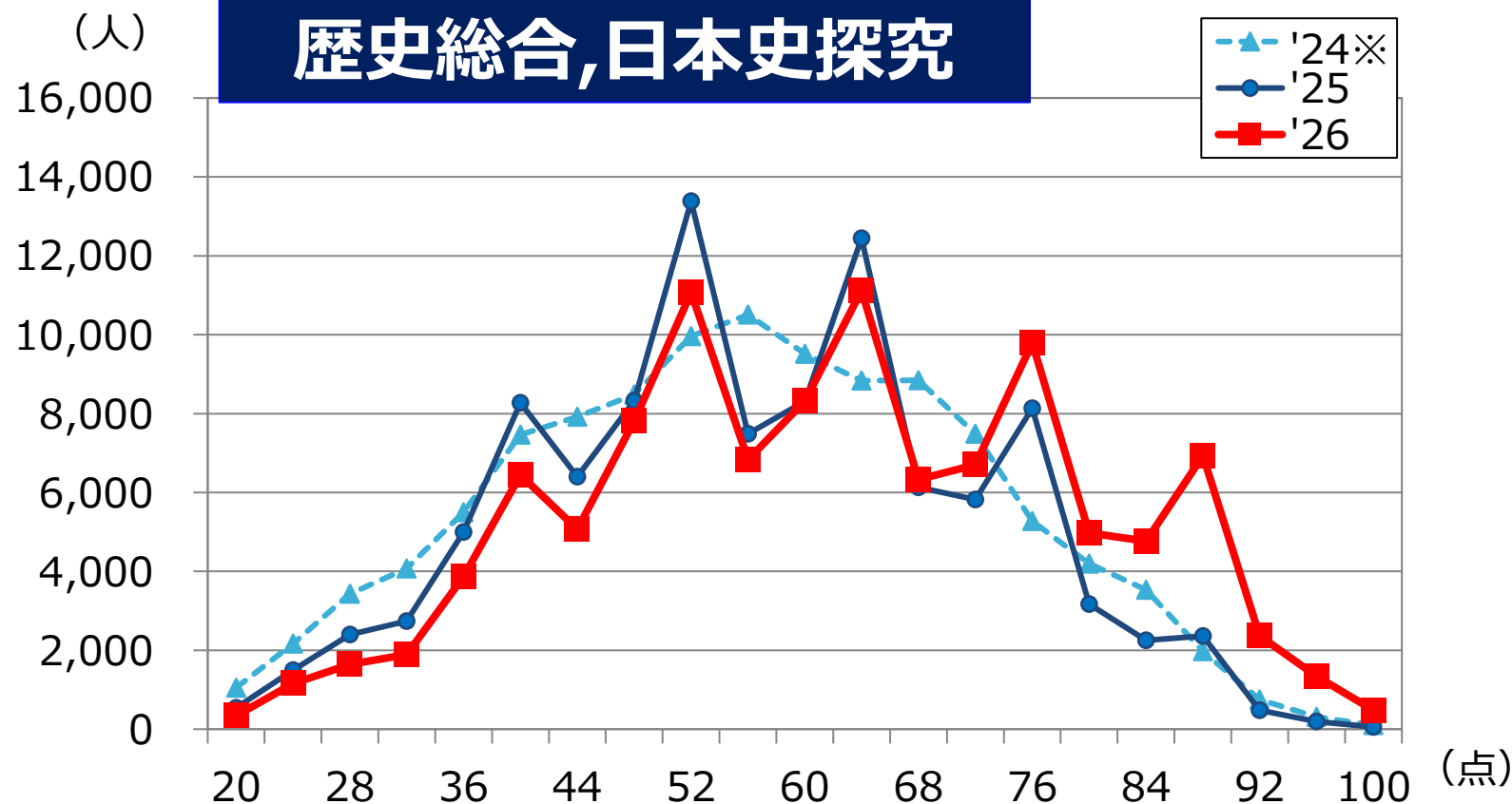
平均点が上昇し、分布のピークは右に移動した。前年よりも64点以上の人数が多くなった。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	62	57.48	65.74	60.46	58.99

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（歴史総合,日本史探究）

歴史総合,日本史探究



* 歴史総合、日本史探究の2024年度は参考として日本史Bの値を示した

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	62	56.99	56.27	59.75	52.81

出題傾向について

地引網漁を描いた図など多様な資料が用いられ、時代横断的な出題割合が増加。昨年よりやや易化

第1問は「地理総合／歴史総合／公共」との共通問題。大問数は6で昨年同様だが、解答数は1個増加。連動型が出題もみられた。「東寺百合文書」など多数の文字資料が現代語訳されたり、風刺漫画や生徒のまとめたノートが資料に利用されたりと、資料読解を通じて歴史的思考力が問われた。難易は昨年よりやや易化。

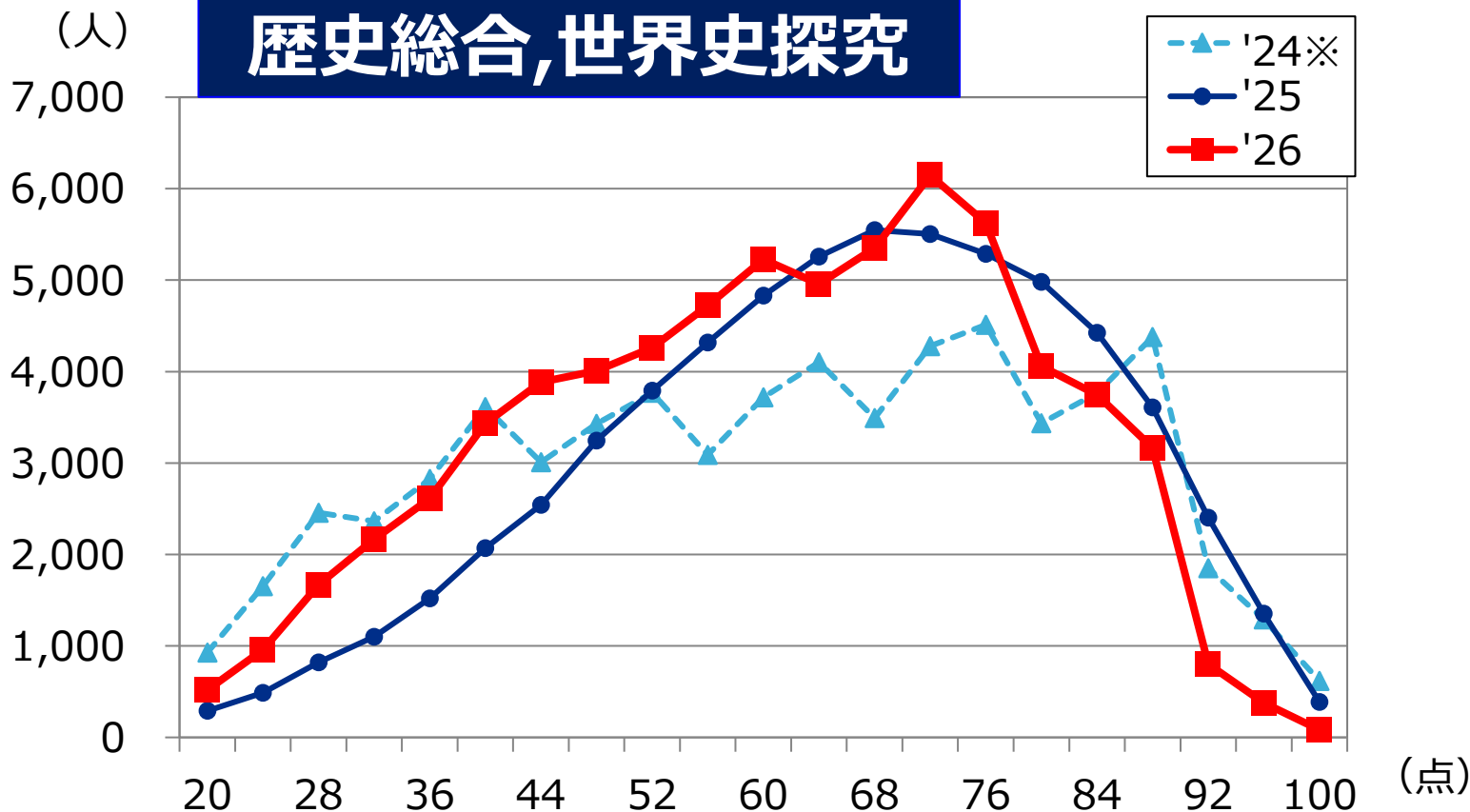
得点度数分布について

度数分布は前年から変動が少ないが、80点以上の高得点帯の人数で増加がみられる。

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（歴史総合,世界史探究）

歴史総合,世界史探究



* 歴史総合、世界史探究の2024年度は参考として世界史Bの値を示した

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	61	66.12	60.28	58.43	65.83

出題傾向について

既習事項と資料の読み解きを組み合わせて正解を導くことが求められた。昨年より難化

第1問は「地理総合／歴史総合／公共」の『歴史総合』第2問と共通問題であった。文献資料、マンガや絵画、地図、グラフなどの様々な資料と、それらをまとめたパネルやメモを用いた問題が多く出された。昨年に引き続き、歴史研究における資料の取り扱いをテーマとした大問や、ジェンダーに関連した設問がみられた。大問内に出された資料を比較検討して、共通点や類似点を問う出題が増加した。難易は昨年より難化。

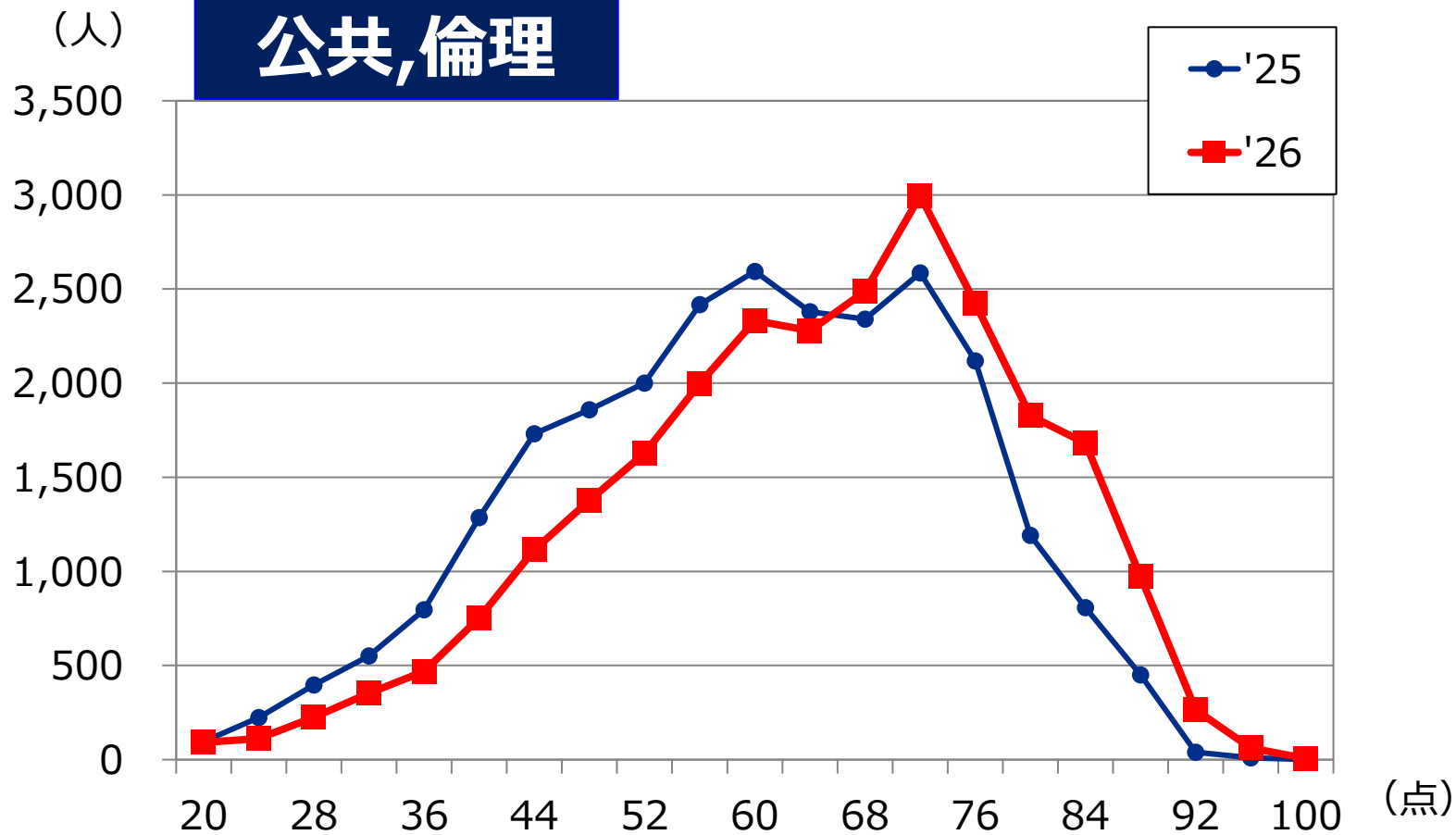
得点度数分布について

分布のピークに変動は少ないが、前年よりも52点以下の人数が多くなっている。

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（公共,倫理）

公共,倫理



出題傾向について

正確な知識とそれを活用する力に加え、読解力や論理的思考力も求められた。昨年よりやや易化

第1問・第2問は「地理総合／歴史総合／公共」の『公共』と「公共、政治・経済」との共通問題であった。組合せ問題では8択が増加し、昨年みられなかった5択が出題された。知識や概念と具体例とを結びつける問題、論理的思考力を求める問題が出題され、多様な資料も用いられた。昨年よりやや易化。

得点度数分布について

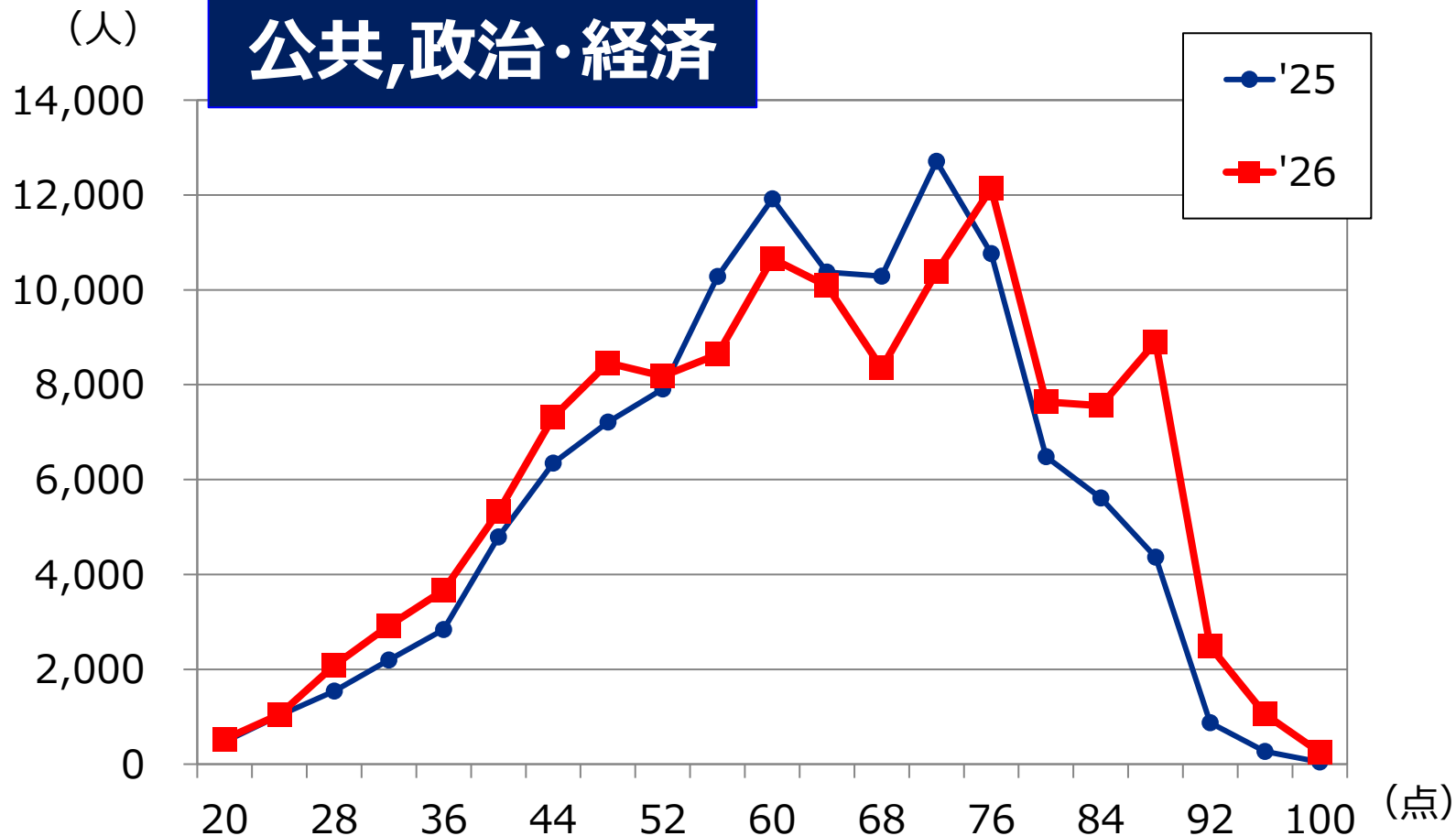
分布のピークに変動は少ないが、前年よりも72点以上の人数が多くなっている。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	65	59.74	56.44	59.02	63.29

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（公共,政治・経済）

公共,政治・経済



出題傾向について

SDGsやパレスチナ問題などの今日的な課題をテーマに基本的な知識が問われた。難易は昨年並

第1問・第2問は「地理総合／歴史総合／公共」の『公共』と「公共、倫理」との共通問題であった。全体として、資料から必要な情報を的確に読み取り、判断する力が問われた。また、国際政治・国際経済分野からの出題が昨年より増加し、連動型の出題もみられた。難易は昨年並。

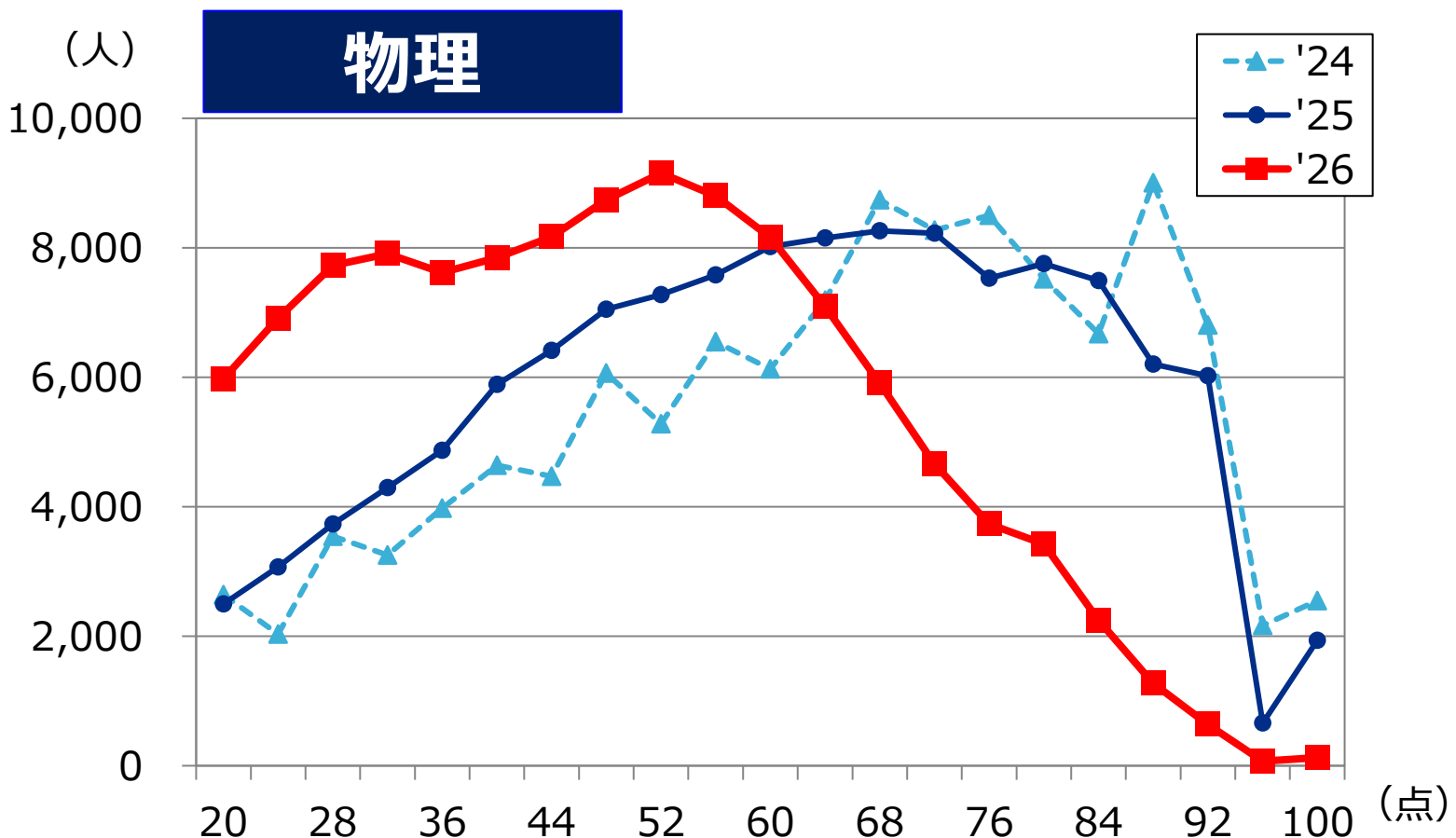
得点度数分布について

度数分布は前年から変動が少ないが、80点以上の高得点帯の人数で増加がみられる。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	64	62.66	44.35	50.96	56.77

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（物理）



出題傾向について

探究的な問題に加えて物理的思考力を要する問題も出題され、昨年より難化

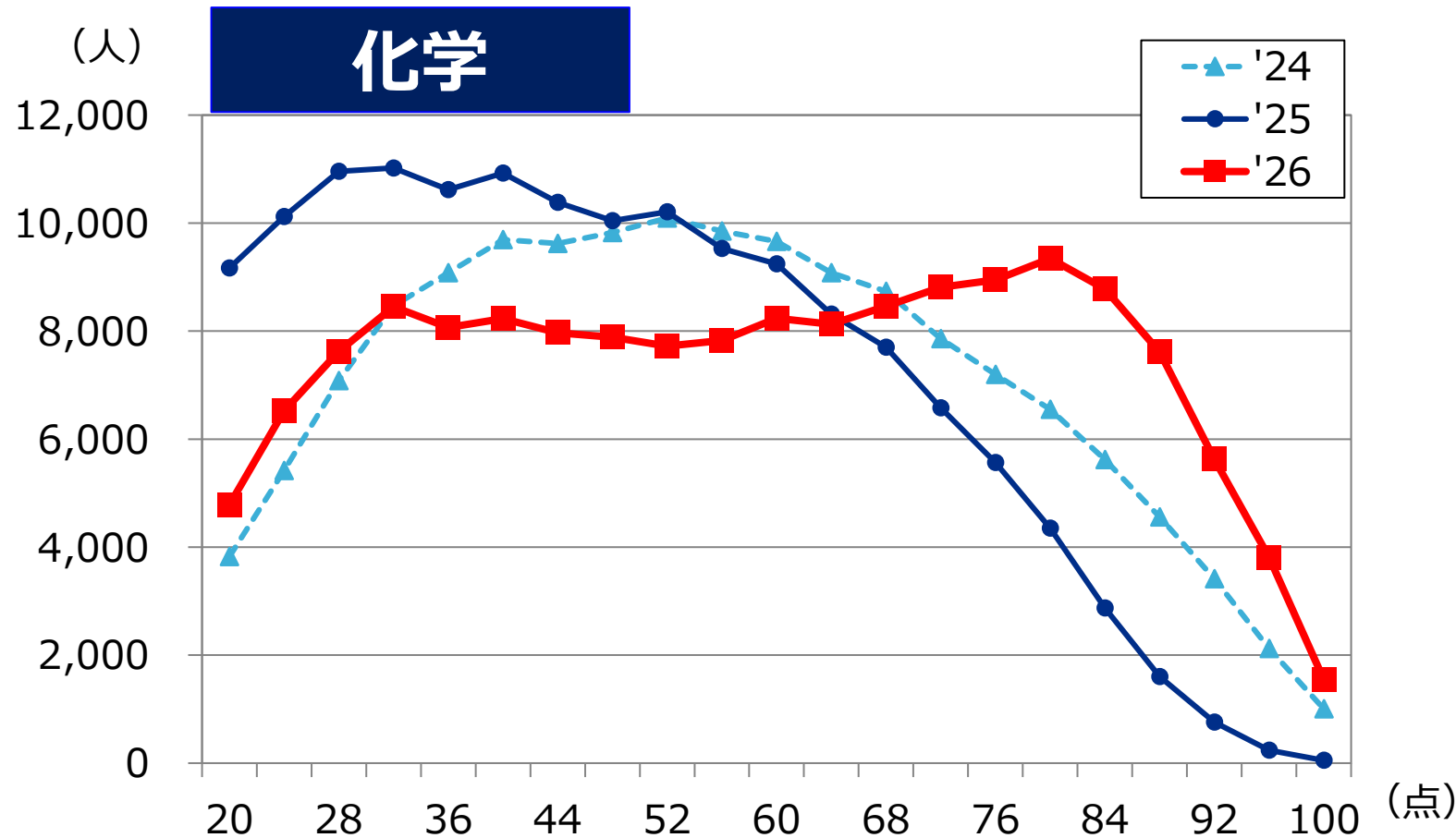
熱サイクルの熱効率を求める探究的な問題に加え、RLC直列回路、遠心力を受けた風船、円形波と平面波の干渉などの物理的思考力を要する問題も出題された。電場と磁場中における負の荷電粒子の運動の融合問題では計算力も問われた。昨年より難化。

得点度数分布について

予想平均点が低下し、分布が低得点帯側に大きくよった形となった。前年よりも64点以上の人数が大きく減少している。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	46	58.96	62.97	63.39	60.72

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。



出題傾向について

ポリイミドに関する問いが目新しい。文章量が減少し、典型的な問題が増加。昨年より易化
表や図・グラフから解答に必要な情報を抽出する問題が複数出題された。アルコールロケットの実験に関する問題は、与えられた条件を組み合わせる力が求められた。見慣れない化合物であるグルタチオンやポリイミドを題材とした出題があった。文章量が減少し、典型的な問題が増加した。昨年より易化。

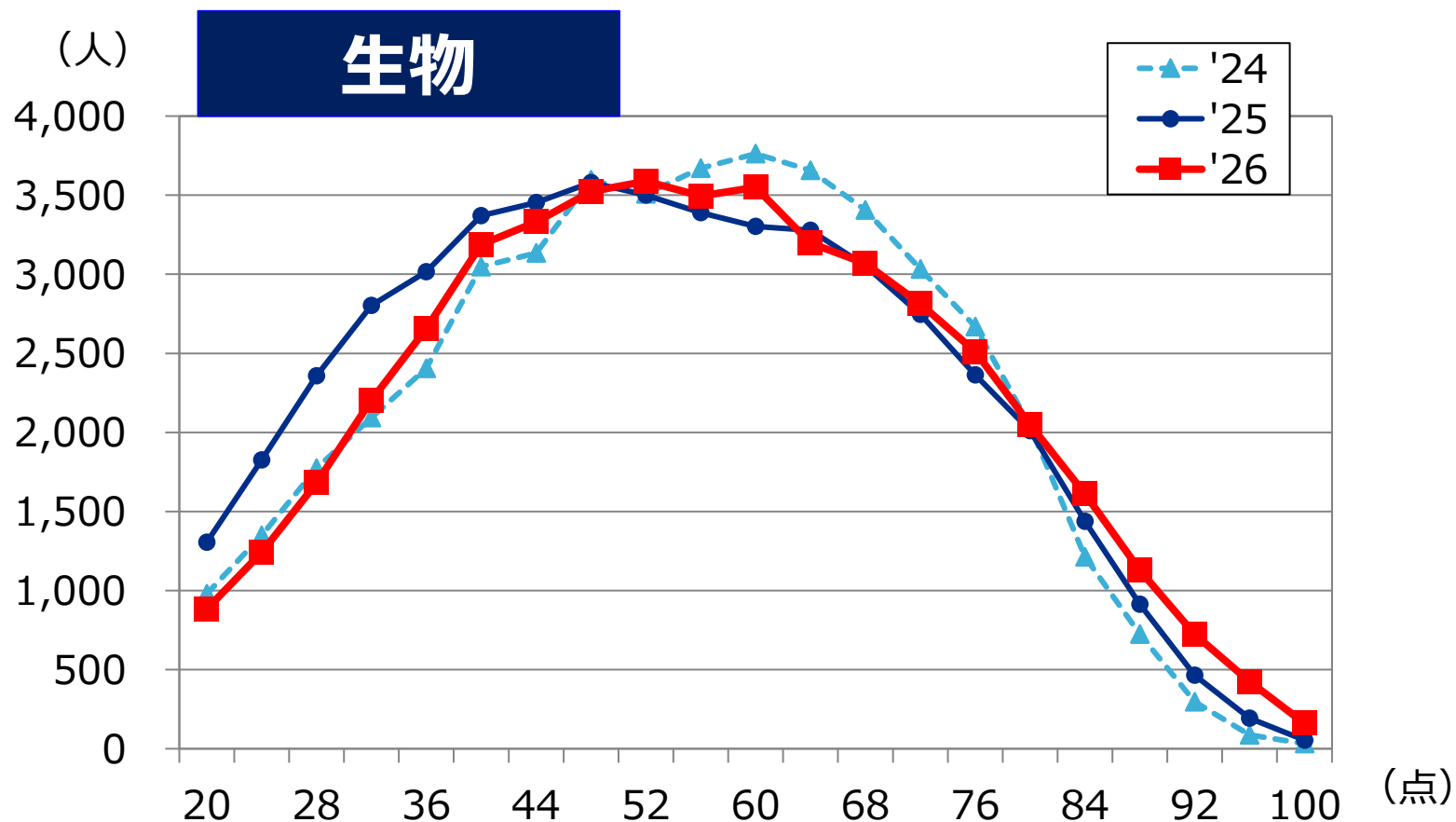
得点度数分布について

分布のピークは80点と高得点となったが、そこから32点まで人数がおおむね横ばいとなり、低い得点帯まで幅広く分布している。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	57	45.34	54.77	54.01	47.63

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（生物）



出題傾向について

例年通り考察問題は多くみられたが、正誤の判断がしやすく、昨年よりやや易化

昨年同様、5大問必答であったが、中間構成の大問はなくなった。総ページ数は増えたが、読み取る情報量はあまり増えなかった。与えられた情報をふまえて考察する設問が多くみられたが、選択肢の数が多い設問が減り、正しい選択肢を選びやすい設問が増えたため、昨年よりやや易化。

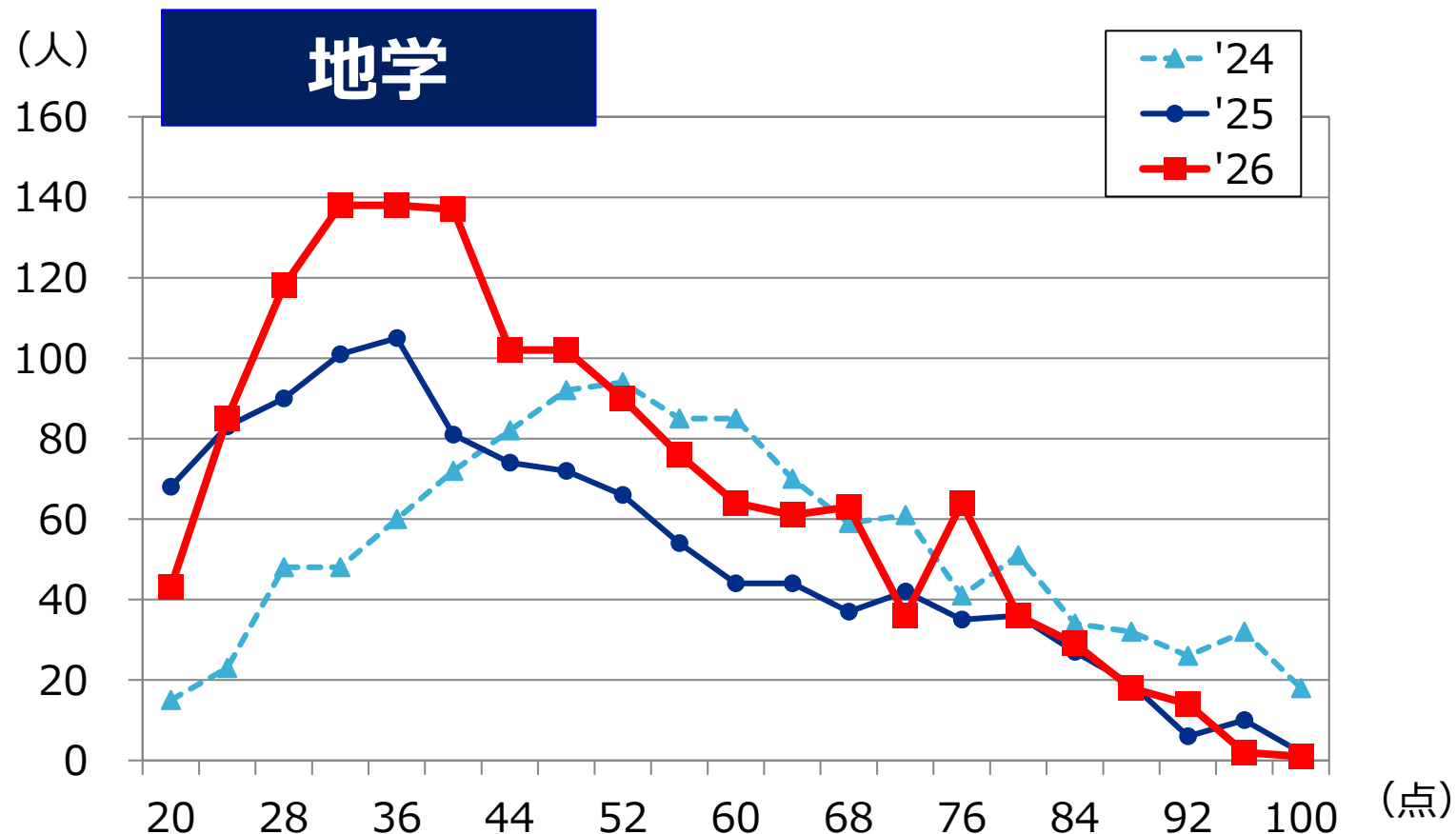
得点度数分布について

分布のピークに変動は少ないが、前年よりも40点以下の人数が少なくなっている。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	55	52.21	54.82	48.46	48.81

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（地学）



出題傾向について

基本的な問題もみられたが、幅広い分野で知識が細部まで問われた問題が多く、難易は昨年並

第1問では地球・宇宙の過去や未来を実際に観察するという仮定のもとに、昨年と同様に分野横断形式で出題された。第3問では鉱床と人類の進化について問われた。正確な読図や計算が必要な問題や、細かい知識が問われた問題もあり、出題テーマが多岐に渡り深い知識と理解が必要であった。難易は昨年並。

得点度数分布について

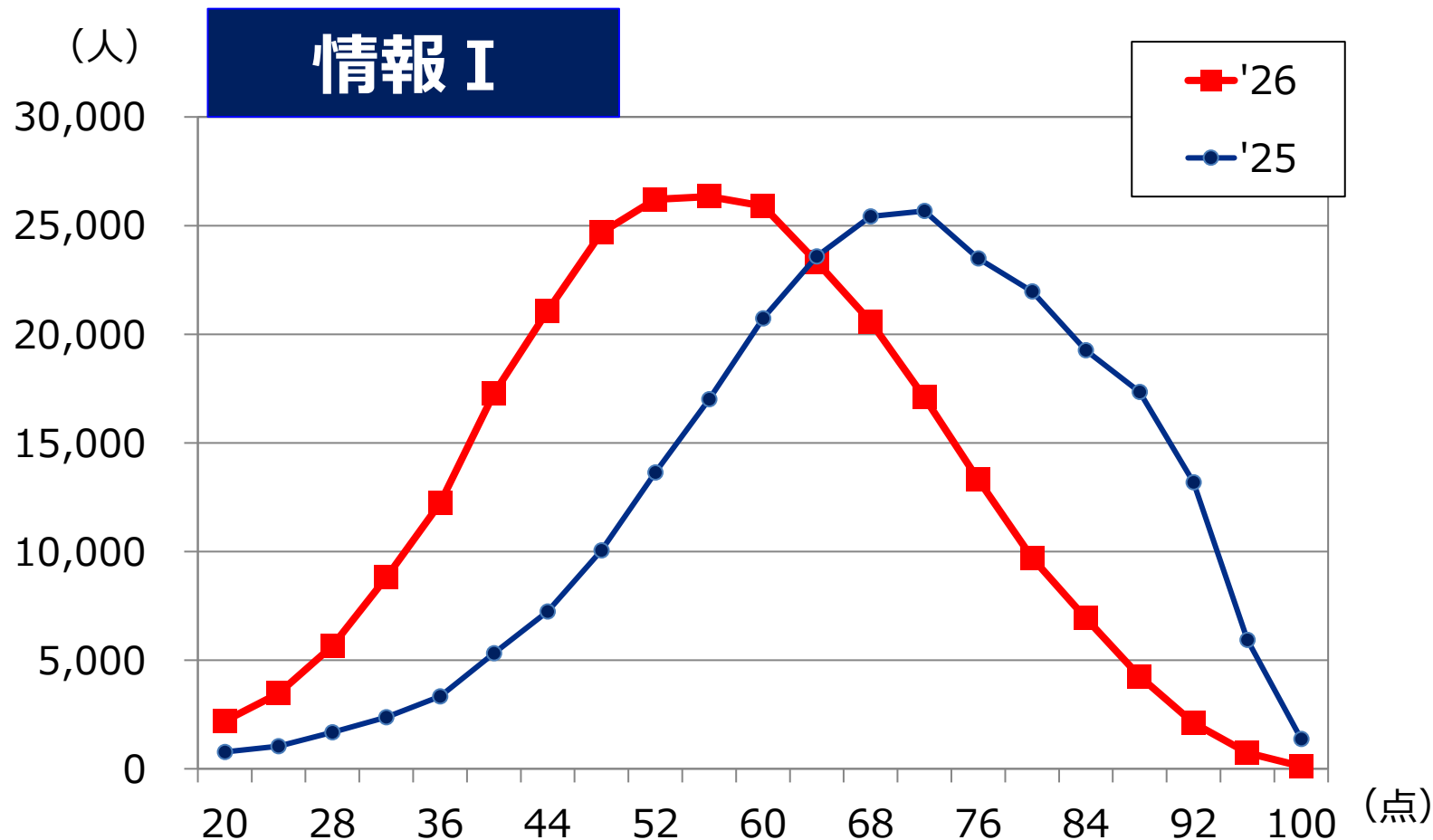
70点から30点の得点帯で増加。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	45	41.64	56.62	49.85	52.72

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

データネット科目別概要（情報）

情報Ⅰ



出題傾向について

知識をもとに深い思考力が求められる問題が多く、論理演算による画像の合成処理などについて問われた。昨年より難化

出題形式は昨年に引き続き大問4問で、学習指導要領の4領域を網羅する構成。解答欄がfまで増えたことにより出題されやすくなると考えられた16進法による数値表現や、共通テスト試作問題で公開された画像の処理にビット演算を組み合わせた出題が特徴的。深い思考や時間を要する出題があり、昨年より難化。

得点度数分布について

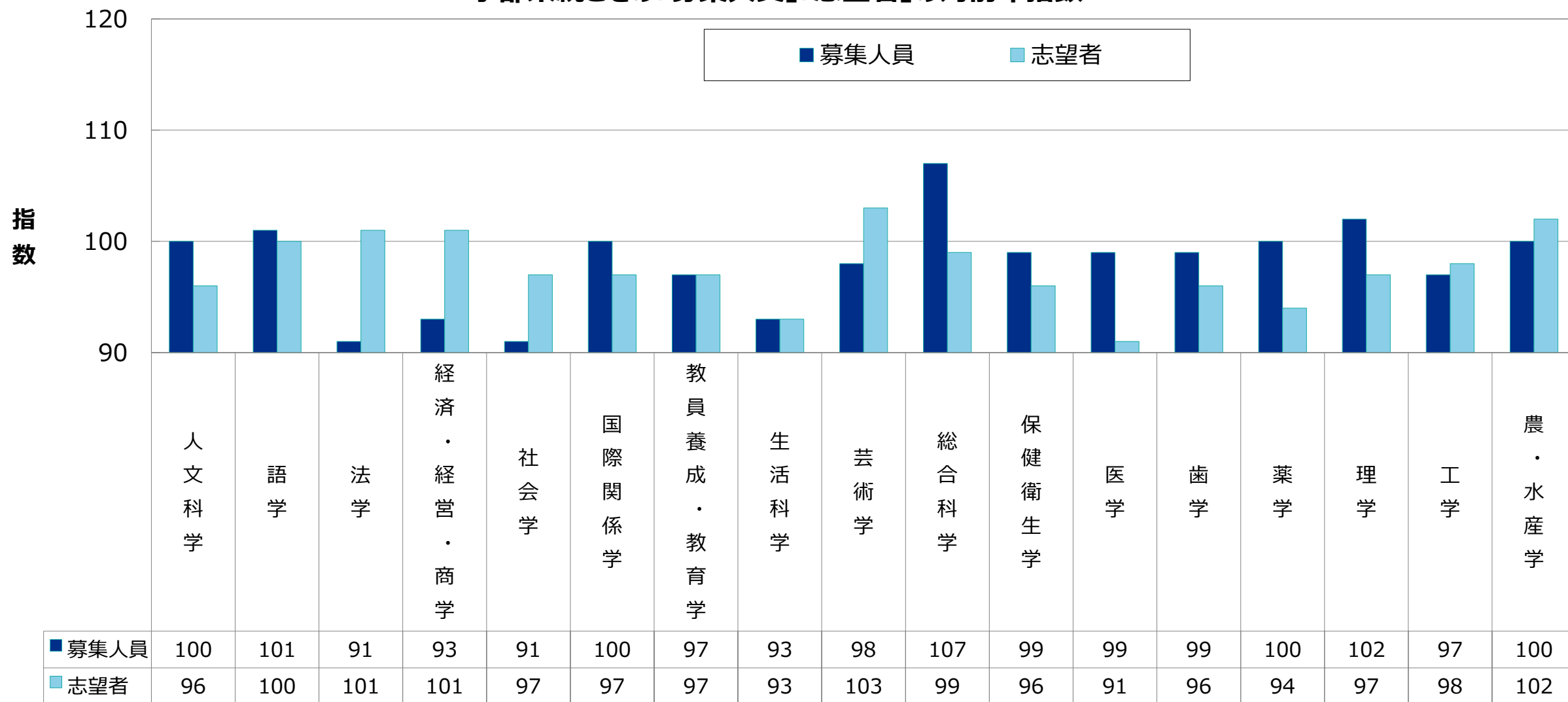
予想平均点が低下し、分布のピークが左に大きく動いており、識別力が高まった。

年度	2026予想	2025	2024	2023	2022
平均点	57	69.26	-	-	-

* 平均点は、2026年度は河合塾・駿台・ベネッセの3社で推定した予想値であり、2025年度以前は大学入試センター最終発表値。

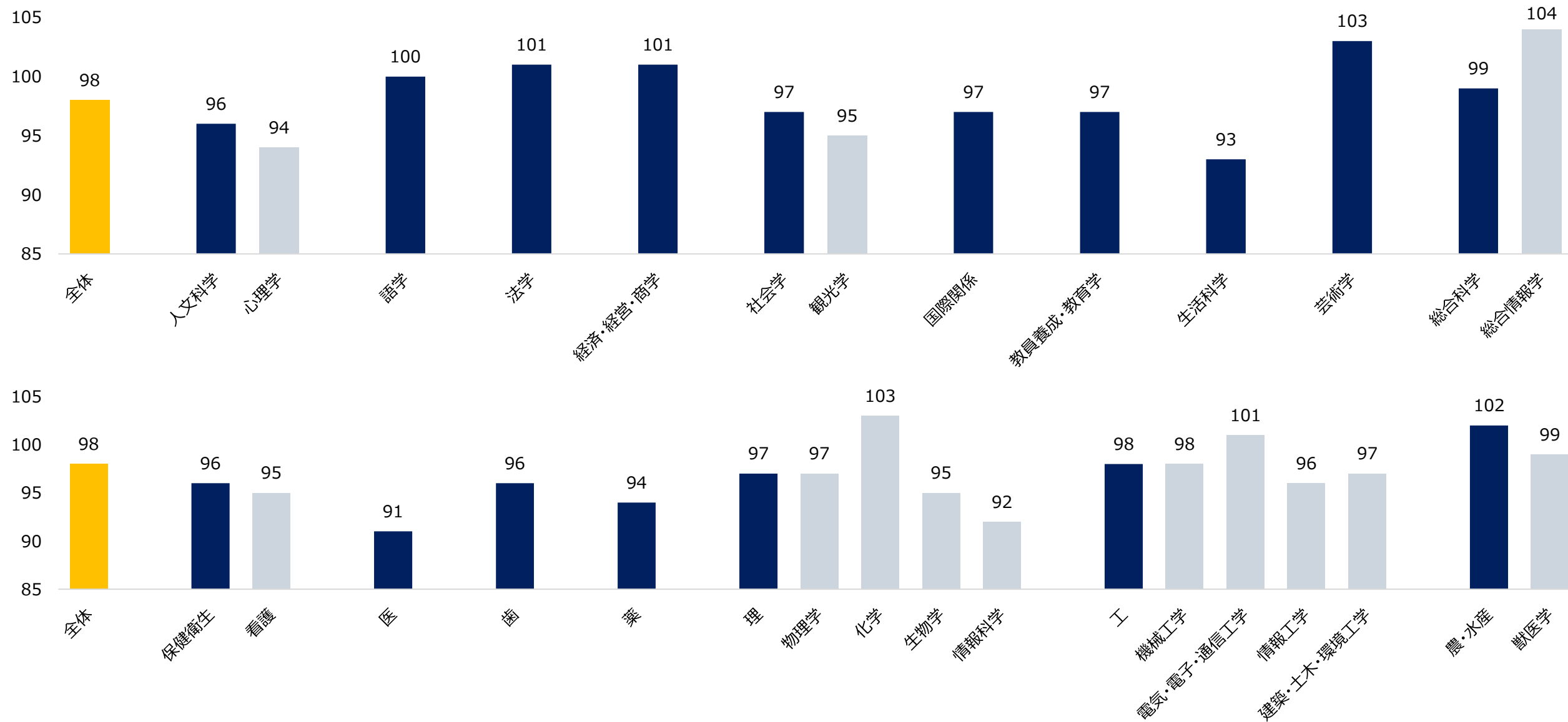
国公立大 学部系統別志望動向

学部系統ごとの「募集人員」「志望者」の対前年指数



* 表中の数値は、前年の値を100としたときの今年の指数

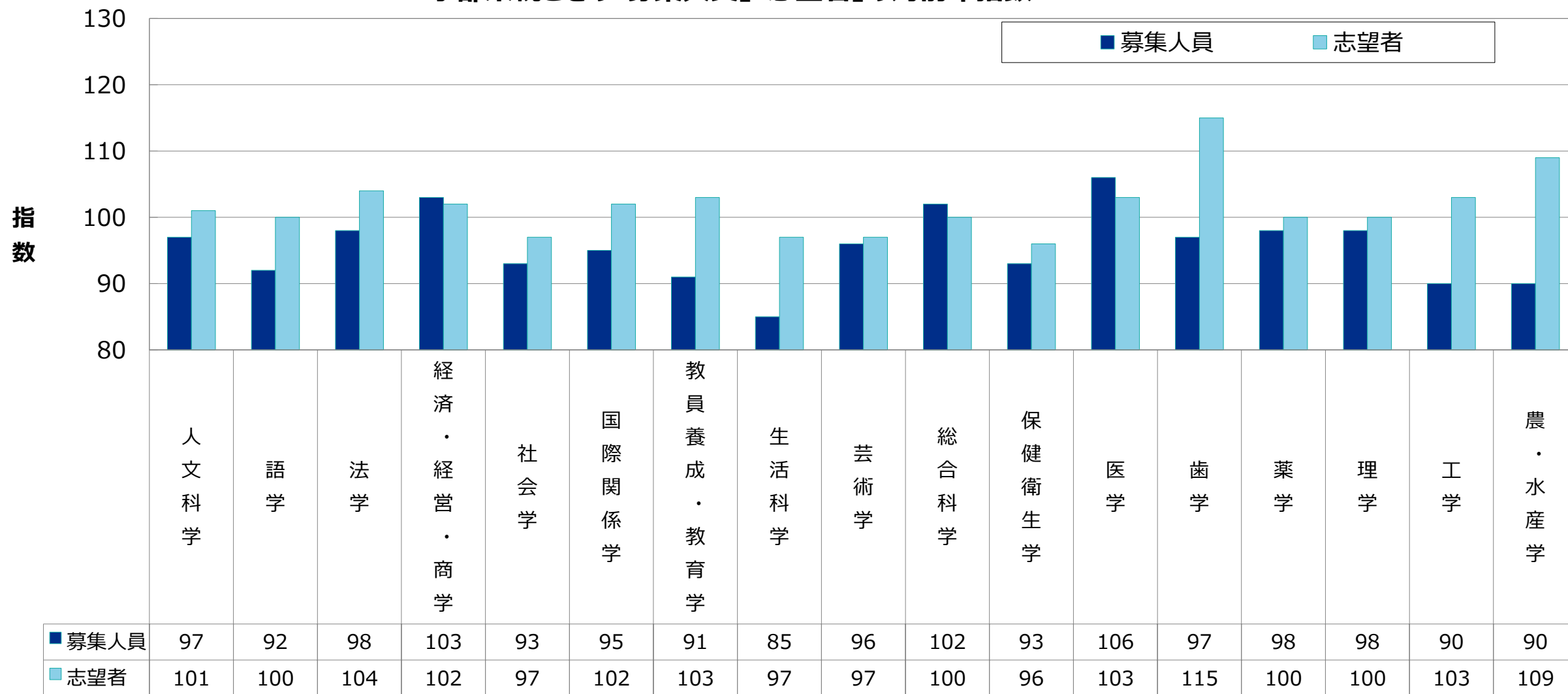
国公立大 学部系統別志望動向（小分類含む）



* 表中の数値は、前年の値を100としたときの今年の指数

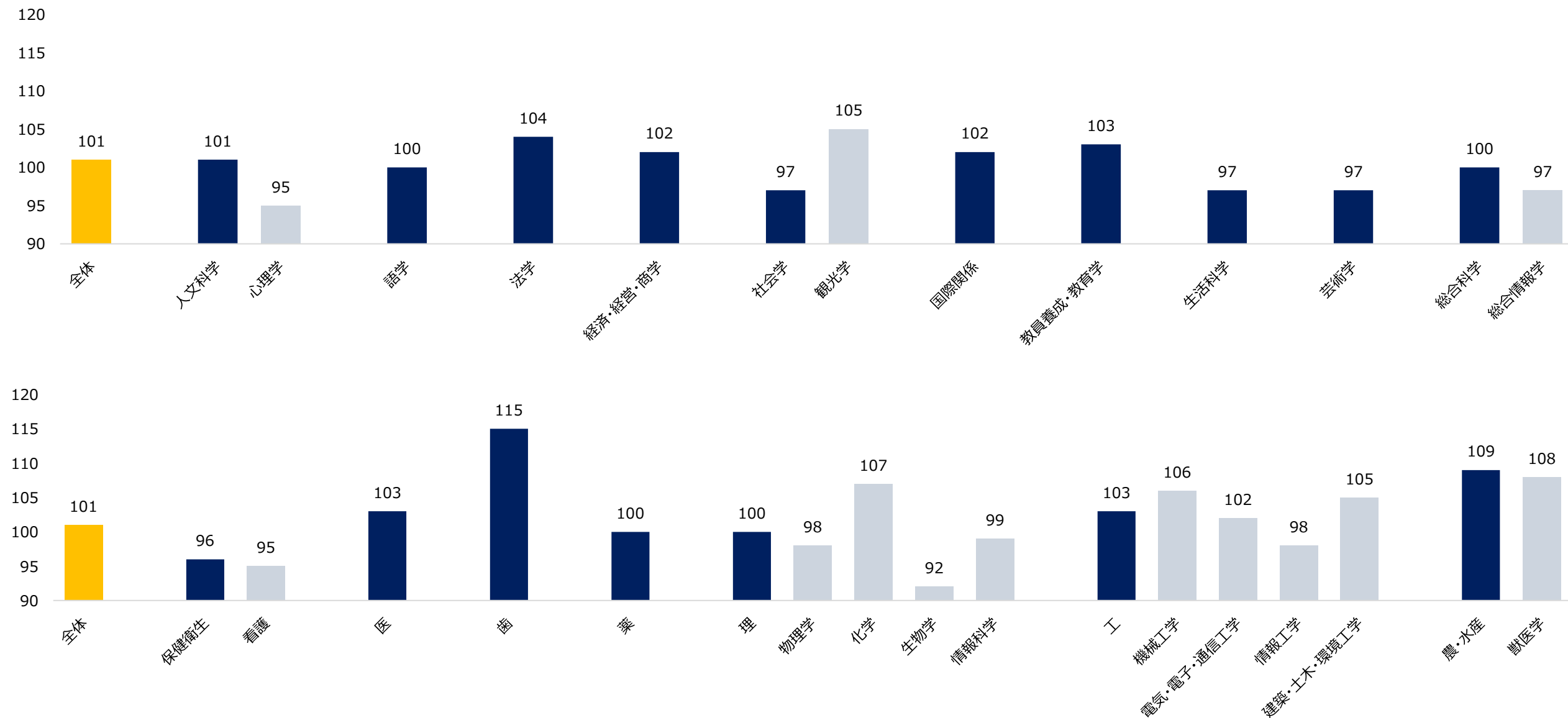
共通テスト利用私立大 学部系統別志望動向

学部系統ごとの「募集人員」「志望者」の対前年指数



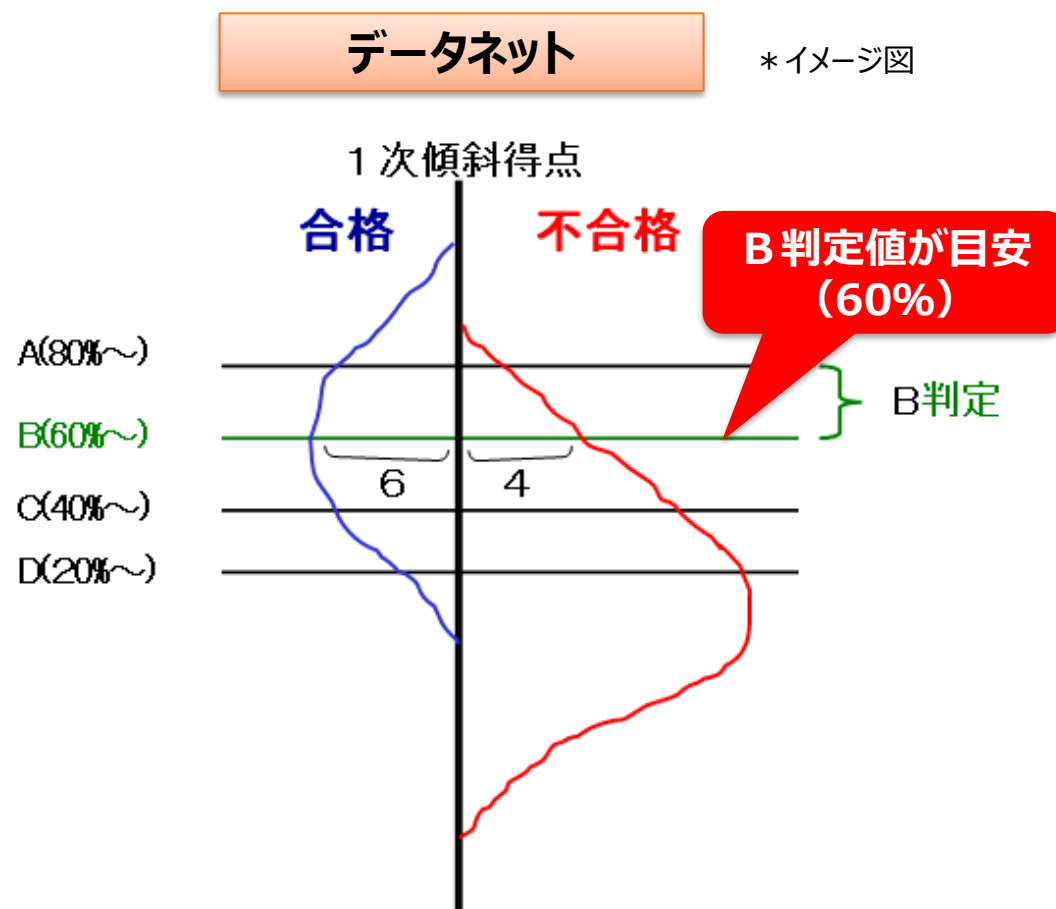
* 表中の数値は、前年の値を100としたときの今年の指数

私立大 学部系統別志望動向（小分類含む）



* 表中の数値は、前年の値を100としたときの今年の指数

データネットでご提供する判定値の意味について

**他社（参考）**

A判定 … 合格可能性 80%以上
B判定 … 合格可能性 65%
C判定 … 合格可能性 50%
D判定 … 合格可能性 35%

C判定値が目安(50%)

B判定の合格可能性は、60%以上80%未満
国公立大のB判定＝個別試験に向け、現時点でアドバンテージを持っている状態

デジタル度数分布マクロ

■ データネット「デジタル度数分布マクロ」とは？

- ・全国の国公立大、私立大、短大の度数分布データが入ったエクセルマクロ
- ・大学、学部、学科やエリア、設置区分等で検索し、最大4つの募集単位を比較可能
- ・過去2カ年との比較が可能

【ご案内】

データネットサイトでご提供しておりましたデータネット志望者度数分布（大学ごとのDL機能）は、データネット2025より提供を終了しています。

是非、デジタル度数分布マクロ等をご活用ください。

データネットサイトにて提供しています



指導で使える
3つのPoint

生徒の状況に応じて
早く作成できる

併願校や過年度と
比較しやすい

書き込み＆保存でき
面談で使える

<https://dn-sundai.benesse.ne.jp/dn/center/>
データネット2026サイト＞ 集計データ集/度数分布

～度数分布マクロ 画面イメージ～

駿台 SUNDAY Benesse
データネット
2026
大学入学共通テスト
自己採点集計
更新情報・お知らせ

全国版冊子/度数分布マクロ
2024年度大学入学共通テスト 自己採点集計データネット > 全国版冊子/度数分布マクロ(動画分析)
2024年度より全国の国公立校に加え、私立・短大の得点度数分布情報もお届けします。
1/17 9:14 更新

全国版冊子
データネットの概況から、合格可能性判断基準、得点度数分布、2段階選抜用度数分布までご確認ください。
全国版冊子 (電子ブック) 電子ブックの利用方法

全国版冊子度数分布マクロ
※データネット2024より全国の国公立校に加え、私立・短大の情報も検索可能になりました。

度数分布マクロ

集計データ集/度数分布

今の状態をPDFで保存 今の状態をExcelで保存

過去2か年分と比較する

タイトルが設定できます。(ファイル保存時の標準ファイル名になります)

過去2か年分と比較する		過去2か年分と比較する		過去2か年分と比較する		過去2か年分と比較する						
2		3		4		5						
北海道大	文	東北大	文	筑波大	人文文化	新潟大	人文					
人文科学	前	人文社会	前	人文学類	前	人文	前					
基準	210 B 200 180	基準	455 B 430 410 385	基準	640 B 595 555 515	基準	270 B 255 235 220					
共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450					
1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)					
定員	118 昨年度倍率 2.4	定員	118 2024年度倍率 2.4	定員	118 2023年度倍率 2.7	定員	118 2022年度倍率 3.0					
2025年		2024年		2023年		2022年						
北海道大	文	北海道大	文	北海道大	文	北海道大	文					
人文科学	前	人文科学	前	人文科学	前	人文科学	前					
基準	210 B 200 190 180	基準	250 B 240 230 220	基準	250 B 240 230 220	基準	250 B 240 230 220					
共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450	共テ：2次	300 : 450					
1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)	1段階	4.0 倍 (**** /)					
定員	118 2024年度倍率 2.4	定員	118 2023年度倍率 2.7	定員	118 2022年度倍率 3.0	定員	118 2021年度倍率 3.0					
得点	今年	昨年	合格	不合	得点	今年	昨年	合格	不合			
250	3	19	A	16	1	300						
245		36		18		295						
240	4	70	B	19	9	290						
235	5	97		14	7	285						
230	7	137	C	17	14	280						
225	14	173		8	14	275						
220	23	213	D	3	13	270						
215	32	248		5	13	265						
210	A	45	277	1	12	260						
205	60	304		6		255						
200	B	76	326	6		250	A	19	20	A	6	
195	102	342		5		245						
190	C	116	355	8		240	B	70	57	B	12	6
185	139	361		2		235						
180	D	165	370	3		230	C	137	124	C	17	19
175	187	378		3		225						
170	213	381		1								
165	221	384		1								
160	232	388		1								
155	240	392		2								
150	251	393		2								
145	258	395		2								

検索結果(最大40件)

検索ワードは『掲載大学一覧』シートをご参照ください。

検索結果

チェックした大学を追加

検索結果(最大40件)

北海道大 文 人文科学 前

北海道大 文 人文科学 後

■データネット「電子ブック」とは？

- ・データネット冊子の内容を網羅したデジタル冊子
- ・デジタルでの提供のため、目次や検索機能を活用することで、必要なデータを見つけやすい
- ・指導で活用できるページに付箋を配置する、必要なページのみ印刷する、メモを記入するなど、カスタマイズしやすい

【ご案内】

データネット2025より、紙冊子の学校へのお届けはなくなり、電子ブックでのご提供となります。
是非、電子ブックをご活用ください。

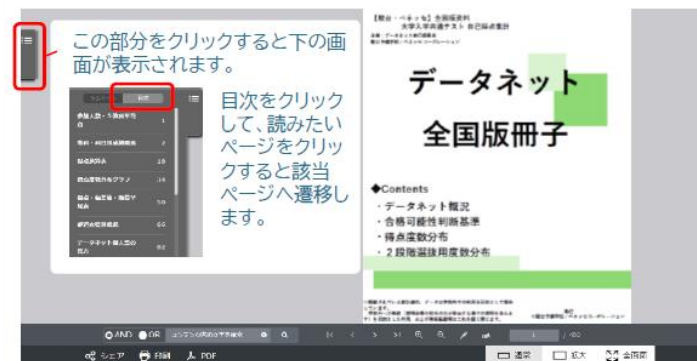
データネットサイトにて提供しています

<https://dn-sundai.benesse.ne.jp/dn/center/>
データネット2026サイト＞集計データ集/度数分布



～電子ブック 画面イメージ～

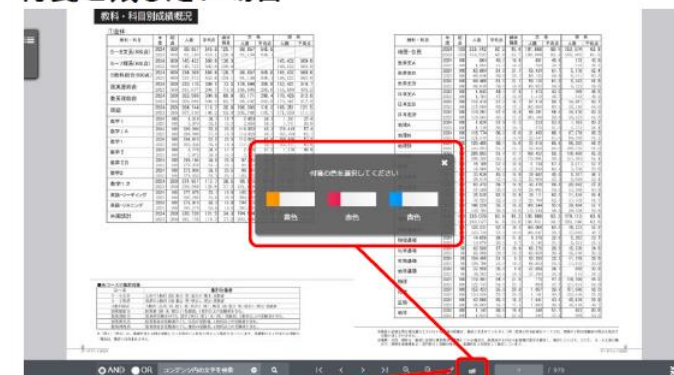
目次から読むページを探したい場合



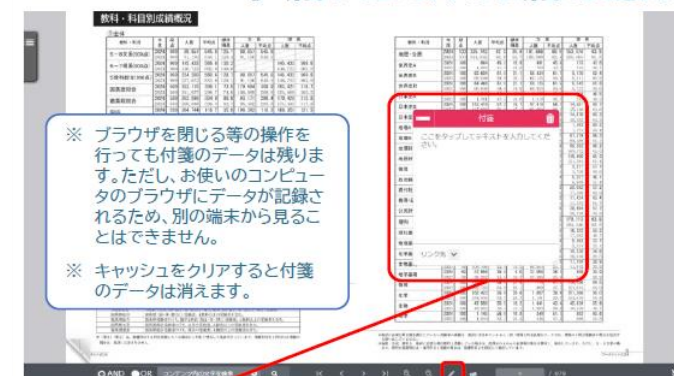
冊子内の単語等を検索したい場合



付箋を残したい場合



① 付箋のアイコンをクリックし、付箋の色を選びます。



② 付箋を配置したい場所をクリックすると付箋にメモが入力できます。

手書きでメモをすることもできます。

* 画面はイメージです